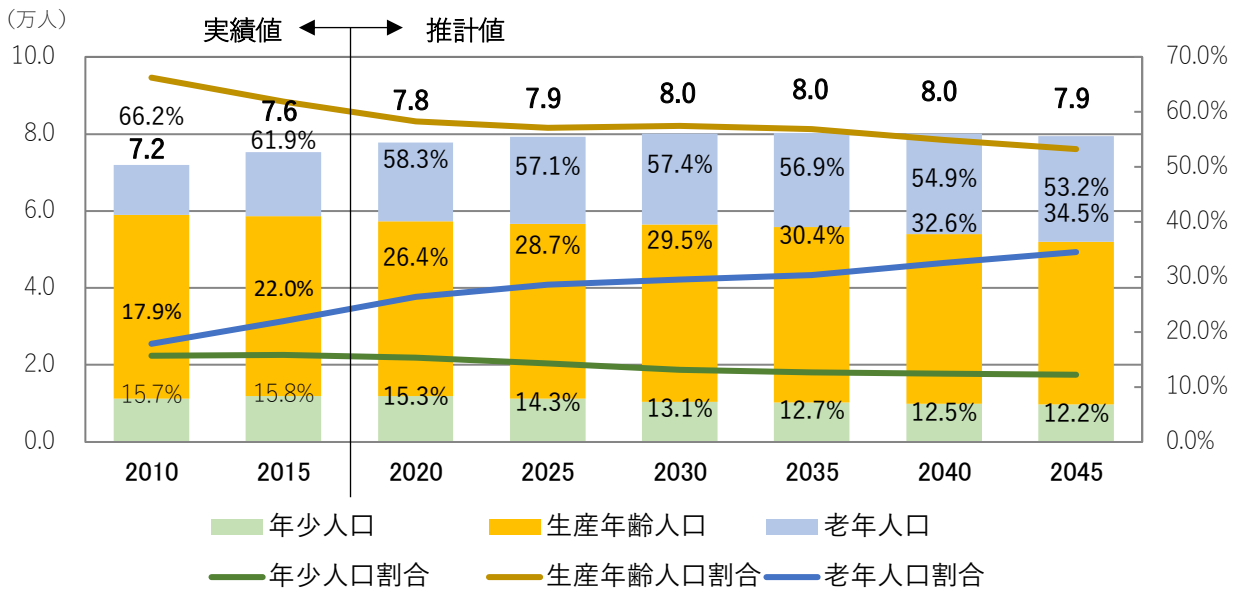


## 第2章 鶴崎駅周辺の現況

### 1. 人口動向

#### (1) 鶴崎地区の人口推移

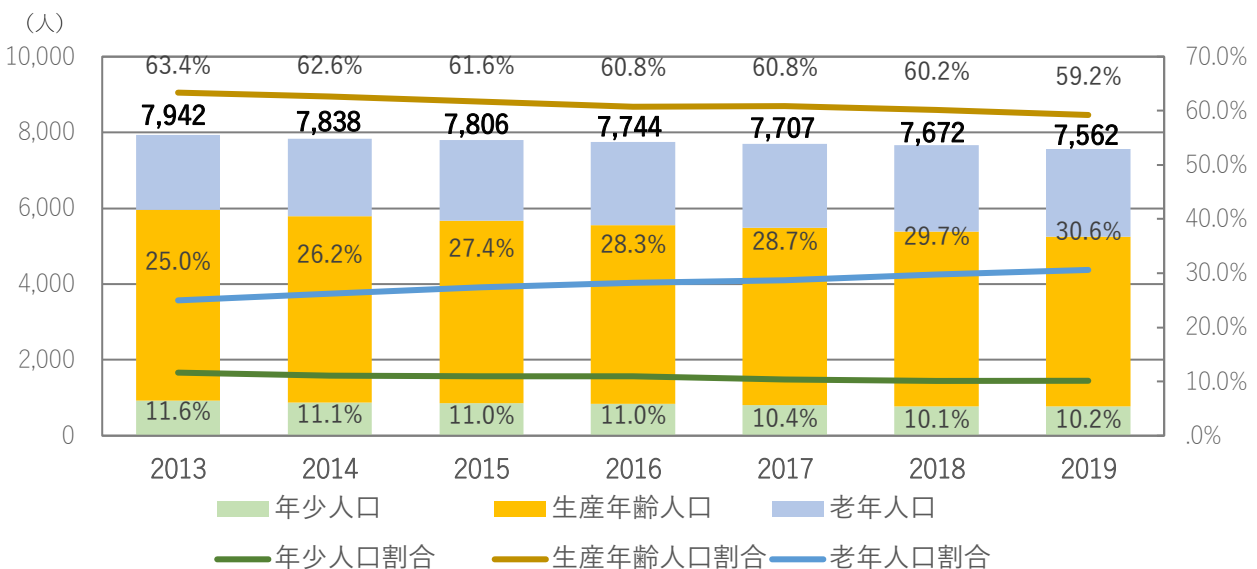
2015年の鶴崎地区全体の人口は、7.6万人で市の総人口の約15.8%を占めています。2045（令和27）年の人口は、7.9万人まで増加する見込みで、増加率は約5.1%となっています。



資料：大分市人口ビジョン

#### (2) 鶴崎校区の人口推移

鶴崎駅周辺地区が含まれる鶴崎校区の2019年人口は、7,562人で近年減少傾向にあります。年少人口割合は10.2%、老年人口割合は30.6%で、少子高齢化が進行していることが伺えます。



資料：住民基本台帳（各年10月末日）

## 2. 鉄道の利用状況

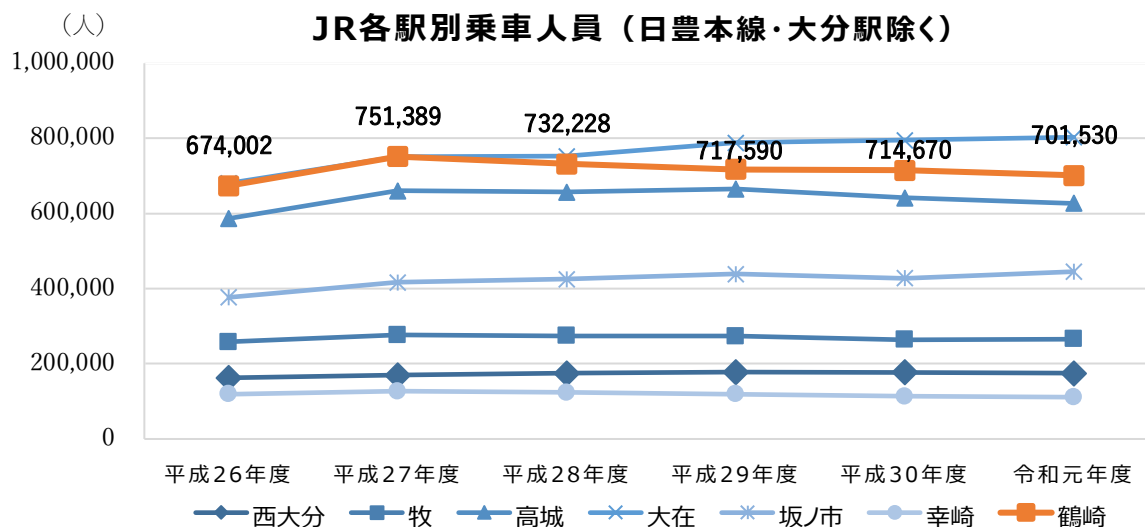
JR 鶴崎駅は、大分市内で3番目に乗車人員が多く、令和元年度における乗車人員は70万1530人、日平均乗車人員は1,922人です。乗車人員の推移を見ると、平成27年度から減少傾向にあり、平成27年度と比較して6.6%減少しています。

大分市内における鉄道駅の年間乗車人員（人）

	鉄道駅名	路線	年間乗車人員（人）	
			平成30年度	令和元年度
1	大分	日豊本線	6,959,455	6,810,900
2	大在	日豊本線	794,970	803,000
3	鶴崎	日豊本線	714,670	701,530
4	高城	日豊本線	642,035	627,435
5	大分大学前	豊肥本線	600,790	598,235
6	坂ノ市	日豊本線	428,145	445,300
7	敷戸	豊肥本線	399,310	389,090
8	中判田	豊肥本線	315,360	307,330
9	牧	日豊本線	263,895	265,720
10	賀来	久大本線	206,225	199,655
11	南大分	久大本線	200,020	197,100
12	古国府	久大本線	173,010	175,930
13	西大分	日豊本線	177,025	175,200
14	滝尾	豊肥本線	144,175	137,240
15	豊後国分	久大本線	124,100	122,640
16	幸崎	日豊本線	113,150	111,325
-	竹中	豊肥本線	不明	不明

日豊本線の各鉄道駅別乗車人員の推移（大分駅を除く）

※新型コロナウイルス感染症により令和2年度から乗降客数が減少しているため、令和元年度以前のデータを使用しています。



資料：大分市の統計

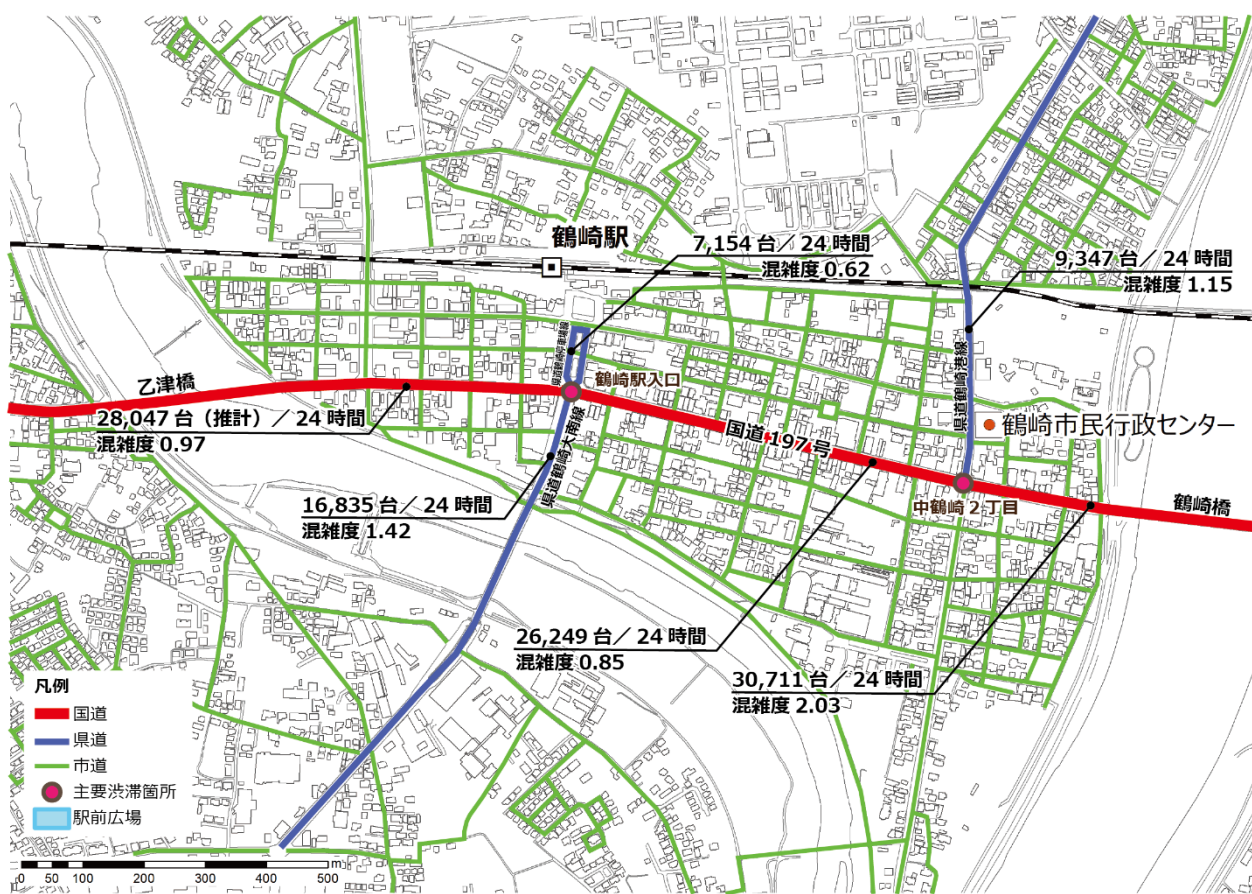
### 3. 交通環境

#### (1) 道路環境

地区周辺の道路ネットワークは、大分市の東西を結ぶ国道 197 号が軸となっており、本地区から南へ延びる県道鶴崎大南線、市道東鶴崎下徳丸線（(都) 家島高田線）や、臨海工業地帯へのアクセス道路である県道鶴崎港線、市道鶴崎・三佐線（(都) 寺司三佐線）で構成されています。

平成 27 年度道路交通センサスによれば、交通量が多い国道 197 号（約 26,000～31,000 台/24 時間）では、「中鶴崎 2 丁目交差点」と「鶴崎駅入口交差点」が主要渋滞箇所となっています。また、県道鶴崎大南線（皆春町）の交通量は約 17,000 台/24 時間で、混雑度が 1.42 と比較的高くなっています。

道路ネットワークと交通量の状況



資料：平成 27 年度全国道路・街路交通情勢調査

#### 混雑度の目安

混雑度	道路混雑の状況
1.00 以下	道路が混雑することなく、円滑に走行できる。
1.00～1.25	道路が混雑する可能性のある時間帯が 1～2 時間あるものの、何時間も混雑が連続する可能性は小さい。
1.25～1.75	ピーク時間帯はもとより、ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する可能性が高い状態。
1.75～2.00	慢性的混雑状態。昼間 12 時間のうち混雑する時間帯が約 50%に達する。
2.00 以上	慢性的混雑状態。昼間 12 時間のうち混雑する時間帯が約 70%に達する。

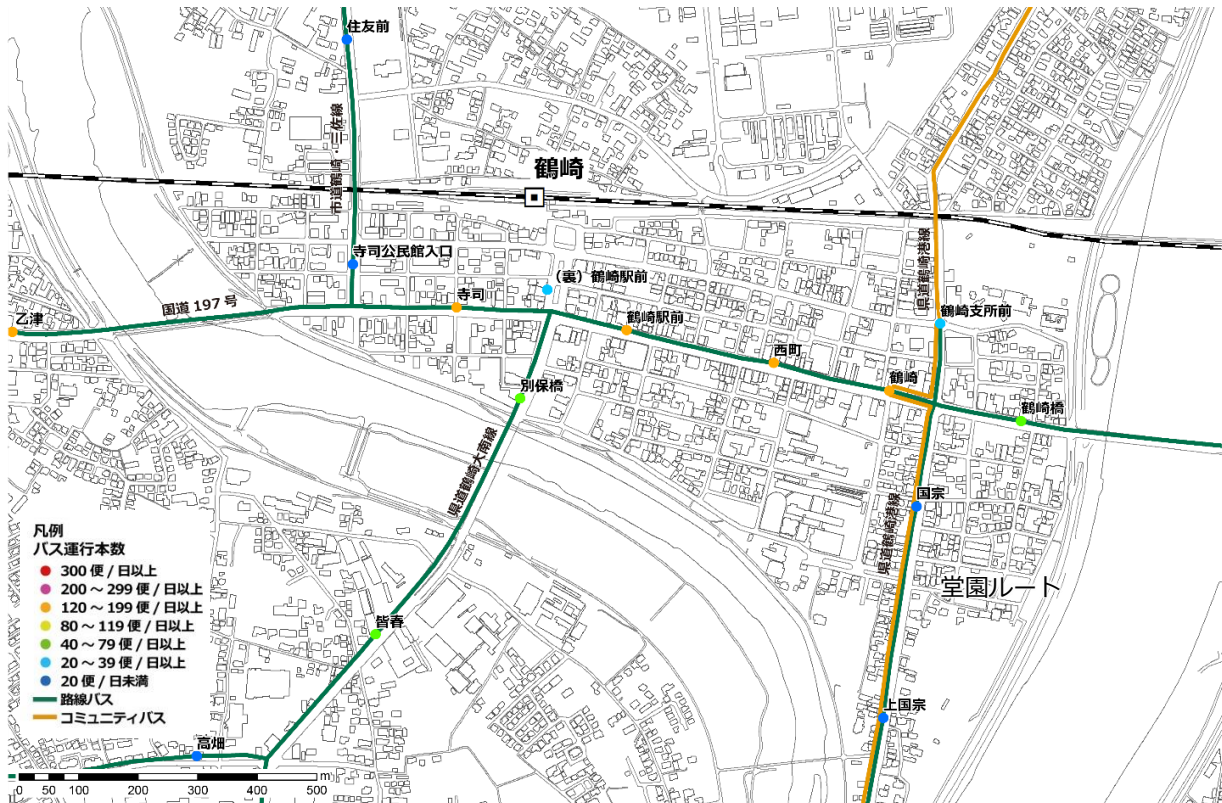
## (2) 公共交通ネットワーク

公共交通ネットワークは、JR 日豊本線が鶴崎駅を介して、上りで大分駅方面及び下りで宮崎県・鹿児島県方面を連絡しています。

路線バスは、大分バスが国道 197 号沿線をはじめ、県道鶴崎大南線や市道東鶴崎下徳丸線（(都)家島高田線）沿線、市道鶴崎・三佐線（(都)寺司三佐線）沿線で運行しています。特に、国道 197 号沿線のバス停では、運行本数が多くなっています。

また、鶴崎バス停から家島方面及び学園方面に向けてふれあい交通が運行されています。

公共交通ネットワークの状況



資料：大分バス時刻表

## (3) 自転車の利用環境

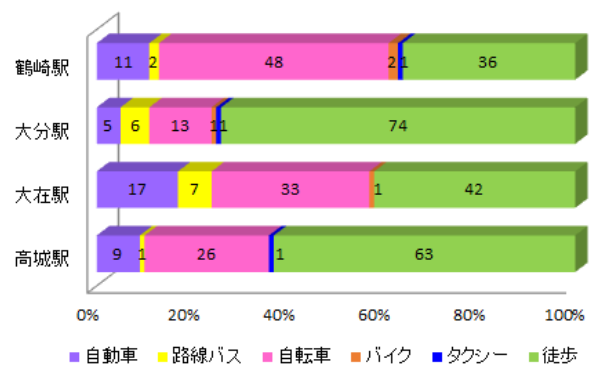
JR 鶴崎駅を利用する方の 48%は、通勤・通学などで自転車を利用されています。駅周辺には、2箇所（自転車収容台数約 700 台）に駐輪場を整備していますが、景観的・動線的な問題があり、快適に利用しにくい状態です。周辺の道路には、自転車専用レーンなどの自転車走行空間が確保されていない状況です。

鶴崎駅前駐輪場の収容台数（台）

	自転車	原付	合計
駅前駐輪場	246	—	246
駅東駐輪場	450	48	498
合計	696	48	744

資料：大分市ホームページ

JR 駅の利用手段分担率（%）



資料：平成 25 年大分都市圏  
パーソントリップ調査

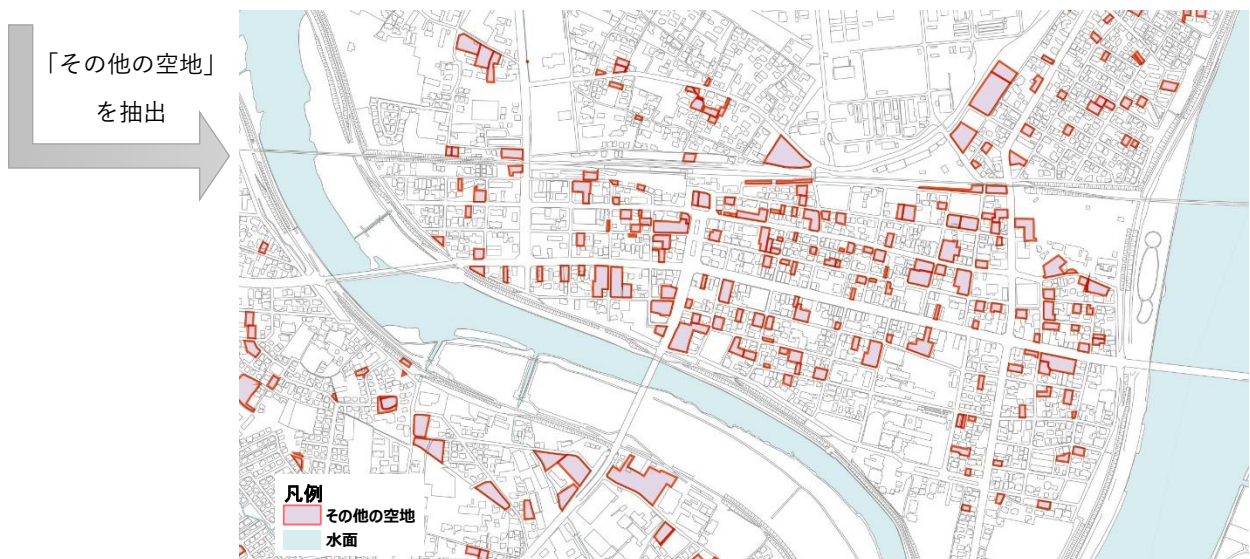
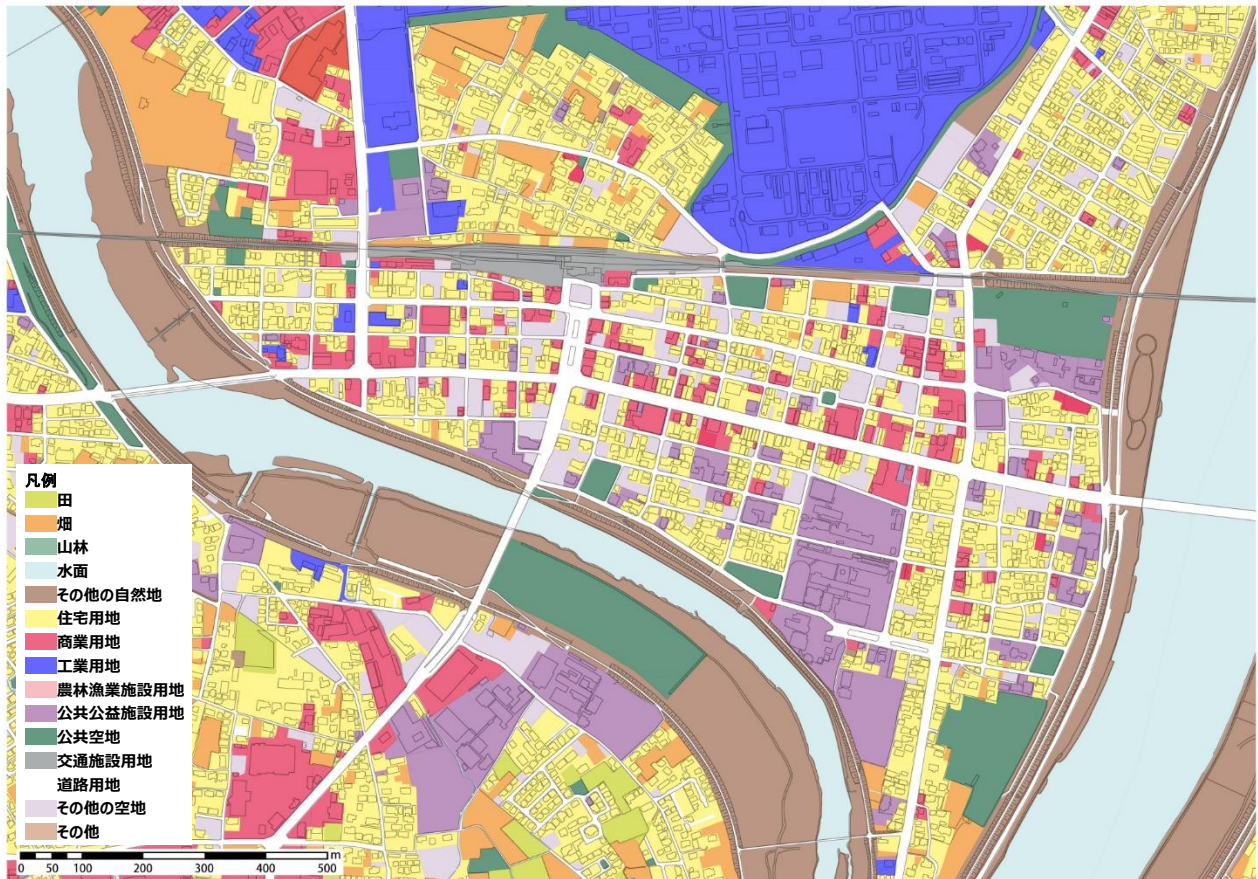
## 4. 土地利用の状況

JR 鶴崎駅南側の国道 197 号沿道には商業用地が多く、その間や後背地には住宅用地が広がっています。また、鶴崎小学校や大分鶴崎高等学校、鶴崎支所、鶴崎公民館などの公共施設用地として利用されています。

駅北側は住宅や耕作地（畑）が多く、対象区域外の北側は工業用地が主体となっています。

対象区域内には、空き地や駐車場などの低・未利用地が多く存在しており、「都市のスポンジ化」が進行していることが伺えます。

土地利用現況



資料：都市計画基礎調査（R4）

## 5. 建物の状況

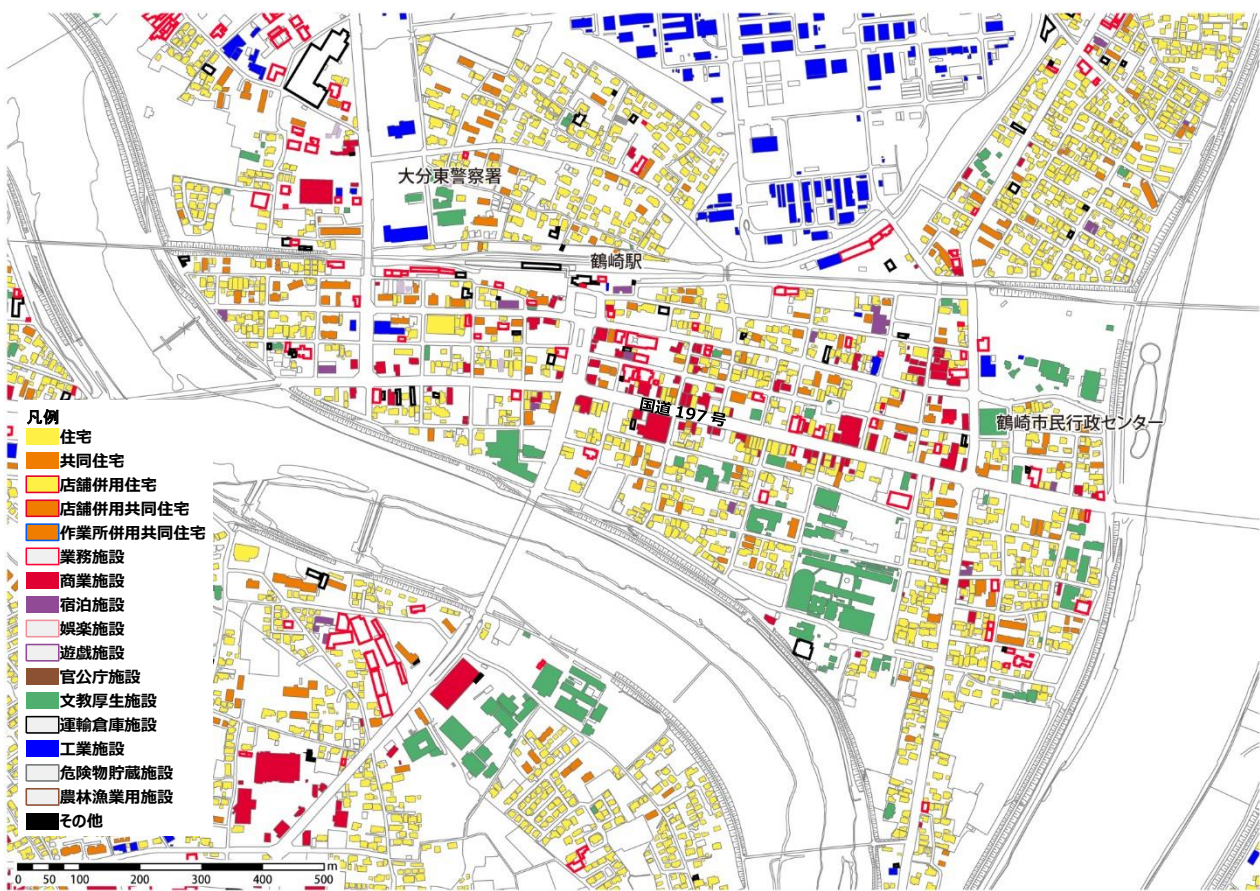
### (1) 建物用途の状況

国道197号沿道には、商店街が形成されており、商業施設や業務施設、店舗併用住宅等が建ち並んでいます。また、鶴崎市民行政センター周辺の沿道においても、商業施設や業務施設が比較的多く立地しています。

これらの大通りに面していない後背地では、住宅・共同住宅が主体であるものの、商業施設や業務施設、宿泊施設等が点在している状況にあります。

また対象区域内には、鶴崎市民行政センターをはじめ、公民館や学校、病院等の文教厚生施設も多く立地しています。

建物用途現況



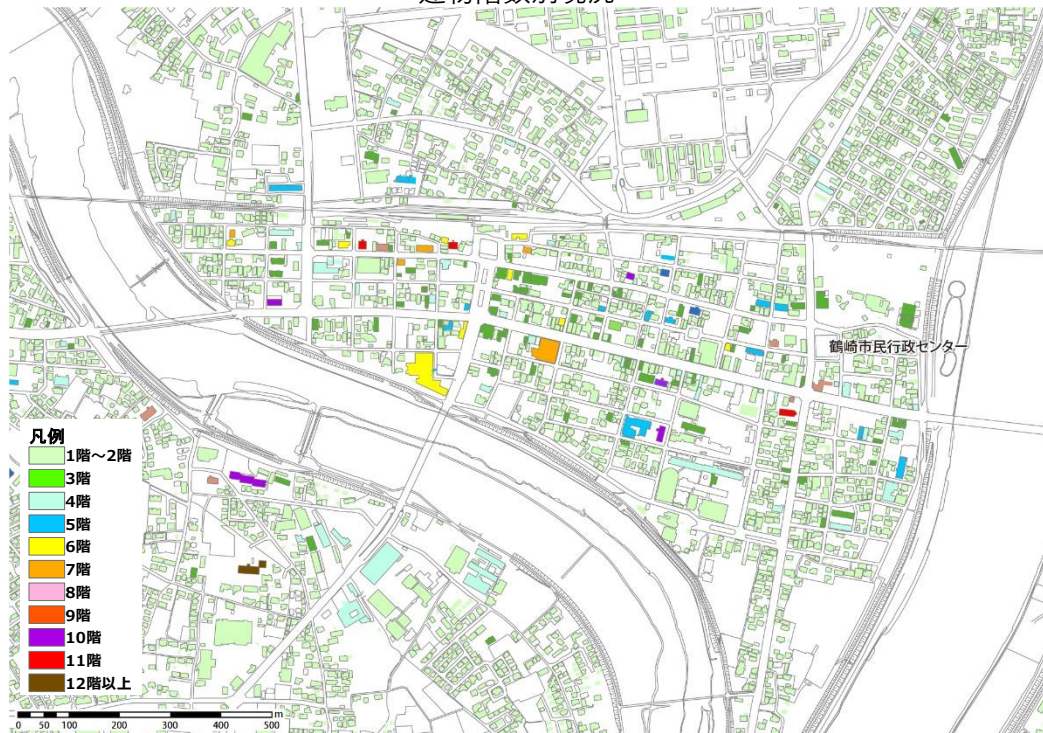
資料：都市計画基礎調査（R4）

## (2) 建物階数等の状況

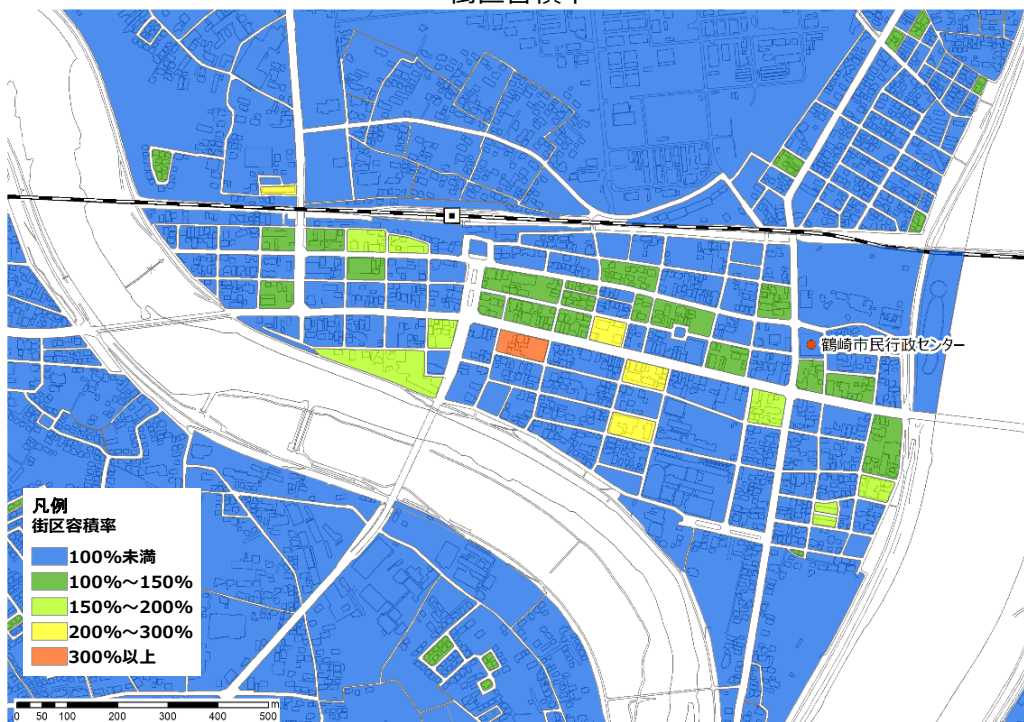
対象区域内の建物階数は、低層（1階～2階）の建物が多くを占めていますが、高層マンションも一部に点在している状況です。商業施設や業務施設、宿泊施設、文教厚生施設等では、3階建て以上の中高層の建物が比較的多くなっています。

街区容積率は、「100%未満」や「100～150%」の街区が多く、一部で200%以上の街区も見られるものの、対象区域全体として土地の高度利用が進んでいない状況にあります。

### 建物階数別現況



### 街区容積率



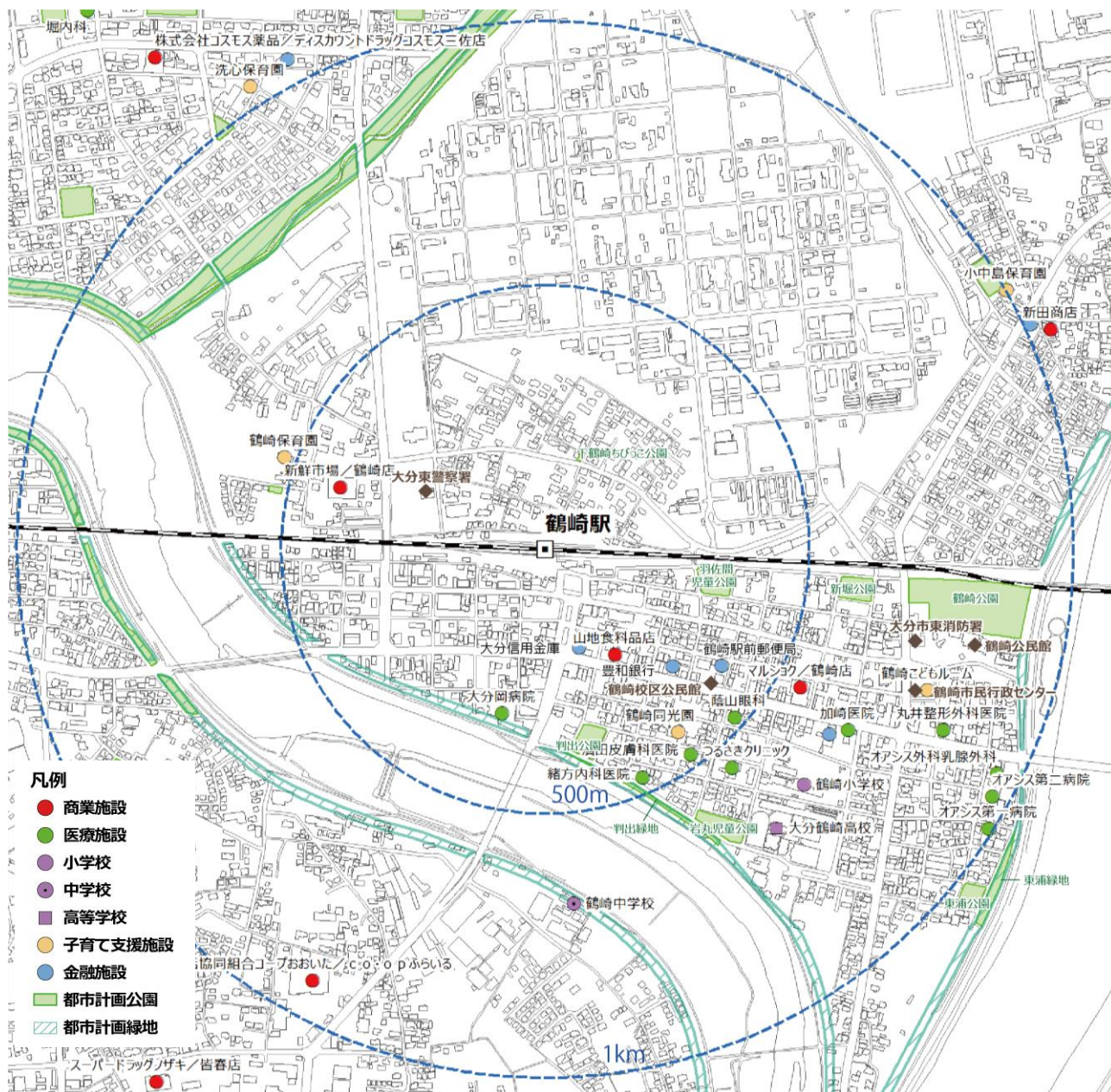
資料：都市計画基礎調査（R4）

## 6. 都市機能の立地状況

JR 鶴崎駅から 1 km 圏の南東部を中心に、商業施設や医療施設、教育施設、子育て支援施設、金融施設等の多様な都市機能が立地しています。また、鶴崎市民行政センターや鶴崎公民館、消防署、警察署などの公共施設も充実しています。

また、乙津川・大野川沿いには、都市公園・緑地も多く立地しており、特に鶴崎公園は、子どもが遊べる広場や「鶴崎踊り※」の会場として市民から親しまれています。

都市機能立地状況



※市指定無形民俗文化財、毎年 8 月のお盆過ぎの土曜日と日曜日に開催



## 7. 歴史文化資源の状況

鶴崎地区は、鎌倉時代以降、大友家領地の時代、加藤家領地の時代、細川家領地の時代、そして明治維新以降は大分県として歴史を刻んできています。

### (1) 大友家領地時代

13世紀初頭、大友家初代能直は、鎌倉幕府から「鎮西奉行・豊後守護職」などの職に任じられました。文永8(1271)年、鎌倉幕府は、西国に所領を持つ守護に対し、モンゴルの襲来(元寇)に備えるよう命じ、第3代頼泰も九州に下り、大友氏は豊後に住むようになりました。第21代宗麟の時代の天正14(1586)年、薩摩島津軍が豊後に攻め込んで来て、「鶴崎城攻防の戦い」、「乙津川(寺司浜)の戦い」がありました。天正14(1487)年に宗麟が亡くなり、文禄2(1593)年、第22代義統は豊臣秀吉から領地を没収され、約400年続いた大友家の支配は終わりました。

### (2) 加藤家領地時代

慶長5(1600)年の関ヶ原の戦いの功績により、加藤清正は、徳川家康から、豊後のうち、「鶴崎・佐賀関・野津原・久住」に約2万5千石の領地を与えられ、鶴崎は加藤氏の領地となりました。清正は、鶴崎に「鶴崎御茶屋」を作り、「法心寺(日蓮宗)」を建立し、港や町並みを整備しました。清正の死後、その子忠広が後を継ぎますが、寛永9(1632)年に加藤氏は改易されました。

### (3) 細川家領地時代

加藤家改易の後、豊前小倉城主であった細川家第3代忠利が肥後を与えられ、豊後の内の元加藤家の領地もそのまま引き継ぎました。細川家は、鶴崎の町並み、港を整備するとともに、行政組織も整備しました。参勤交代の際は、阿蘇を越え、鶴崎の港から大坂周辺まで、たびたび船で往復しています。「けんか祭り」で有名な「劔八幡宮」は、細川家により、正保3(1646)年に建てられました。

文化7(1810)年には、伊能忠敬が鶴崎方面を測量し、また文久4(1864)年には、勝海舟が坂本龍馬らを伴って佐賀関に上陸して長崎まで往復した時、ここ鶴崎に宿泊しています。

### (4) 明治維新以降

明治維新後、鶴崎は大分県となり、市町村合併により鶴崎町から鶴崎市となり、昭和38(1963)年3月10日大分市となりました。

昭和60(1985)年毛利空桑の遺品を集めた「毛利空桑遺品館」が建てられ、毛利空桑の旧宅「天勝堂」、塾跡「知来館」を含め「毛利空桑記念館」として公開されています。

対象区域内には、これらの時代背景を象徴するような歴史文化資源が多数残されており、往時の面影を感じることができます。

### ○剣八幡神社

剣八幡神社は、正保5年（1645）熊本藩主細川光尚によって創建されました。拝殿は入母屋造銅板葺で千鳥破風が付き、唐破風のある向拝を設けています。『大日本帝國大分県社寺名勝圖録』より明治32年（1899）以前に建築されたことが分かります。平成3年（1991）に倒木により外壁が破損したため修理を行っています。本殿は三間社流造で建築年代は不明となっています。

### ○法心寺

法心寺は、慶長6年（1601）熊本藩主加藤清正によって建立されました。山門（仁王門）は入母屋造本瓦葺で軒唐破風がつき、屋根を三手先の組物で支える伝統的建造物であり明治23年（1890）の『豊後国大分郡寺院明細帳』に記載がありそれ以前の建築となっています。本堂は入母屋造本瓦葺で『鶴崎地方歴史年表』（昭和51年（1976））によれば明治44年（1910）の建築となっています。

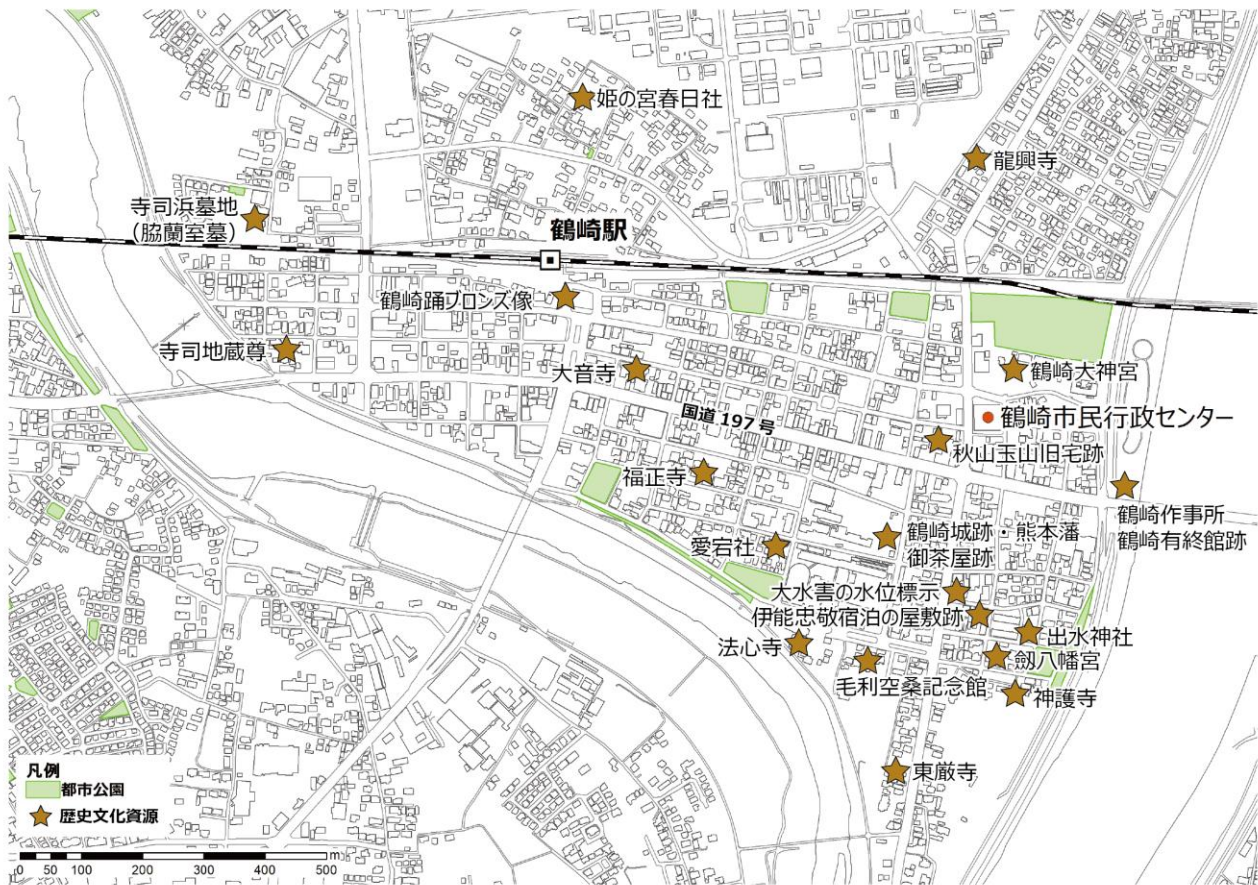
### ○毛利空桑旧宅「天勝堂」・塾跡「知来館」（県指定史跡）

旧宅「天勝堂」は、『毛利空桑全集』（昭和7年（1932））によれば安政4年（1857）に建築された切妻造二階建棧瓦葺の住宅です。塾跡「知来館」は、旧宅と同年の建築で、切妻造二階建棧瓦葺で、1階部分で塾生が生活し、二階が塾としての勉学の間となっていました。

### ○姫之宮春日社

姫之宮春日社は、石碑碑文より昭和18年（1943）改築されています。剣八幡神社の祭礼で神輿が立ち寄るところで、拝殿は近年の建築ですが、本殿は一間社流造銅板葺きで、また拝殿前の石鳥居は延享5年（1748）建築となっています。

## 歴史文化資源



資料：鶴崎校区歴史マップ



鶴崎踊ブロンズ像



鶴崎大神宮

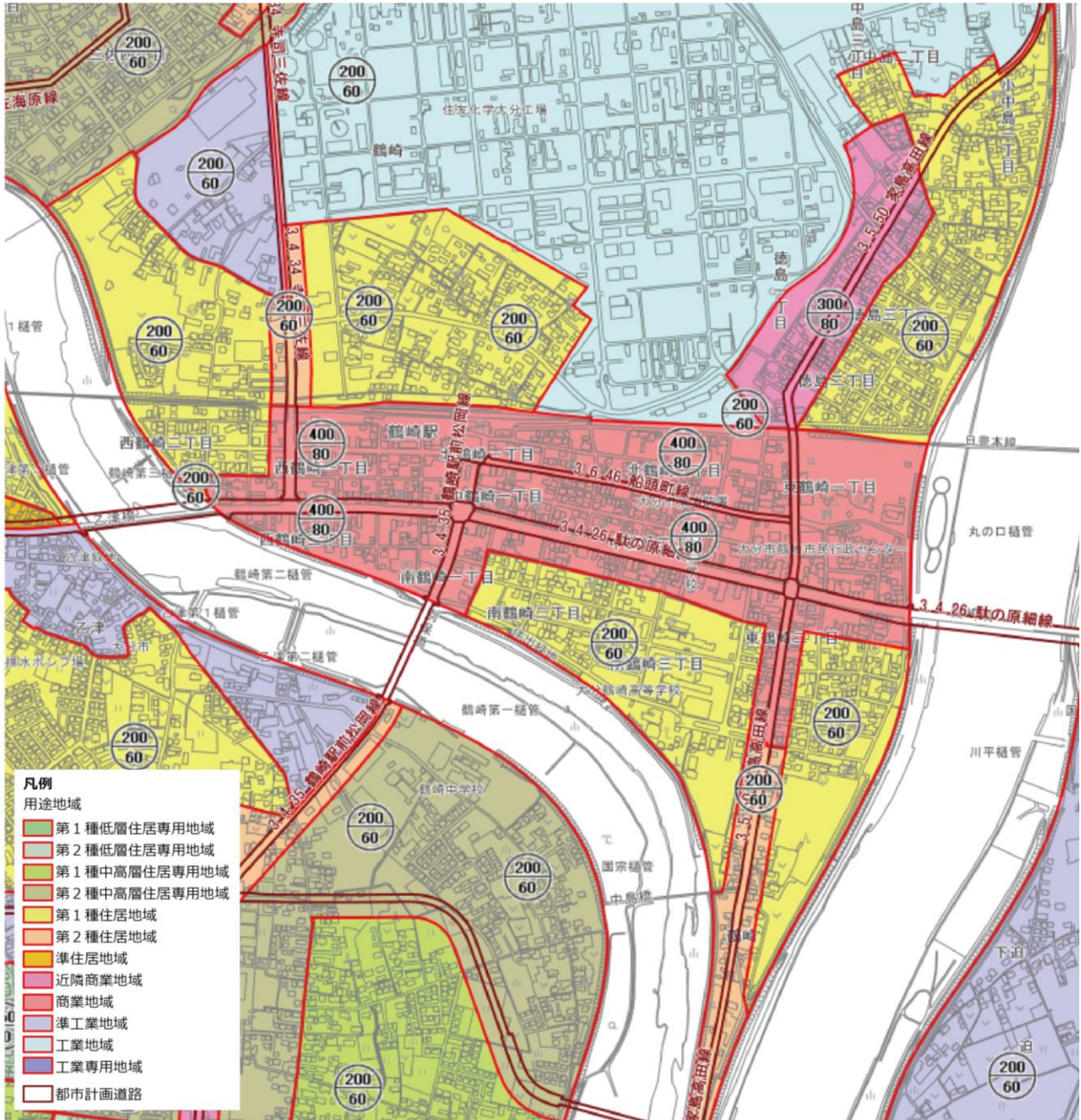


毛利空桑塾跡 知来館

## 8. 法規制の状況

用途地域は、JR 鶴崎駅南側を中心に商業地域が指定されており、その他は主に第1種住居地域が指定されています。(都) 寺司三佐線の沿道には一部、第2種住居地域が指定されています。

用途地域の指定状況



資料：おおいたマップ

# 9. ハザードエリアの状況

## (1) 洪水浸水想定区域（想定最大規模）

洪水浸水想定区域（想定最大規模）は、対象地区内のほぼ全域となっており、洪水時には 3m～5m の浸水（2 階の屋根まで浸水）が想定されています。

特に、乙津川沿いや鶴崎公民館周辺部では、家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される「家屋倒壊等氾濫想定区域」が指定されている区域があります。

ハザードエリアの状況



資料：大分市洪水ハザードマップ

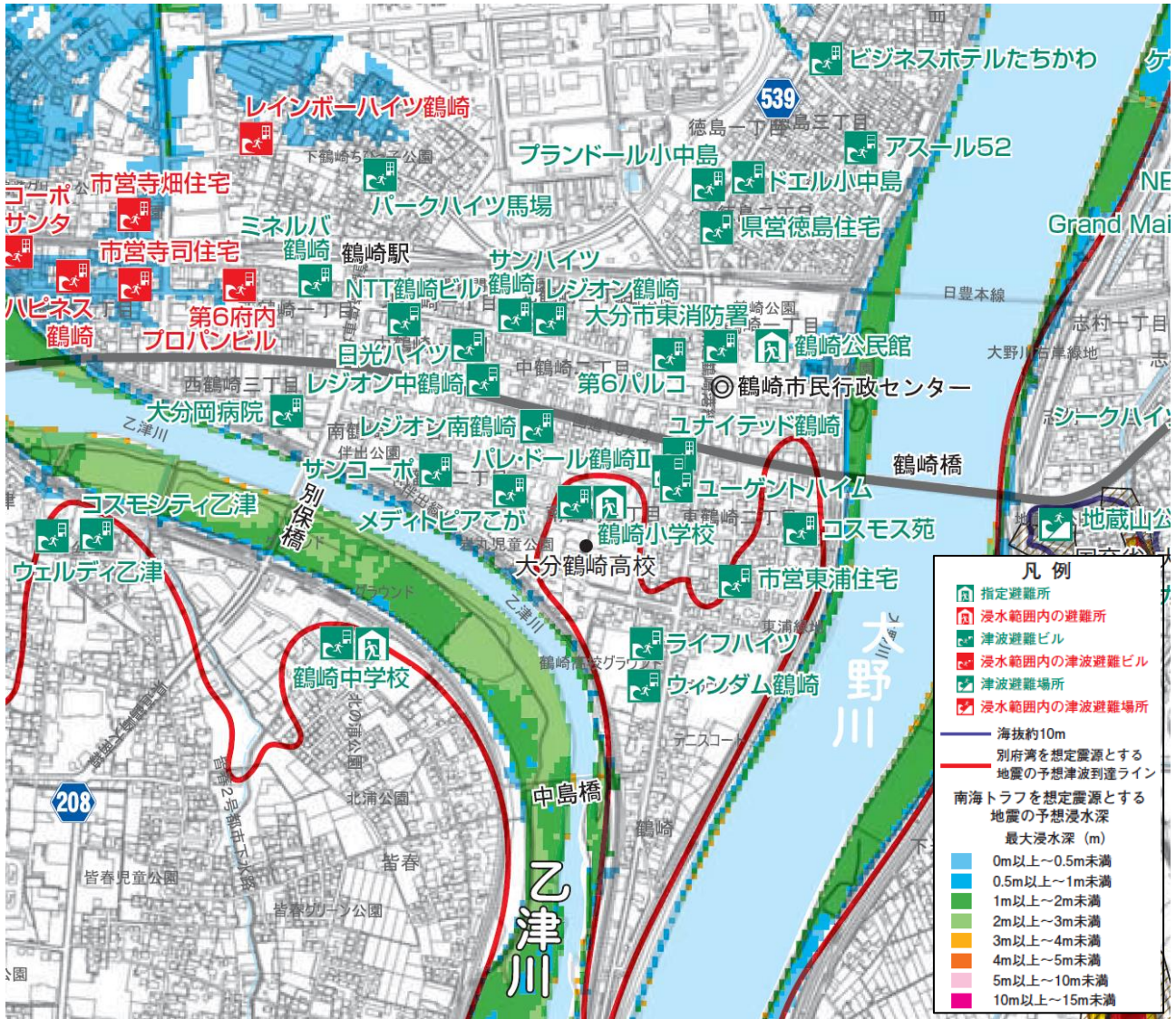
※「浸水想定区域（想定最大規模）」とは、1000年に1回程度の発生が想定されている降雨規模（想定し得る最大規模の降雨）

1000年毎に1回発生する周期的な降雨ではなく、1年の間に発生する確率が1/1000（0.1%）以下の降雨です。

## (2) 津波浸水想定区域

南海トラフを想定震源とする地震の予想浸水深は、対象区域の西端部分や鶴崎公園の一部で 0.5 m未満となっています。

鶴崎小学校や市営東浦住宅周辺一部を除き、本地区のほとんどが別府湾を想定震源とする地震による津波の予想到達ラインに含まれています。



資料：大分市津波・地震ハザードマップ

## 10. 市民意向の把握

市民意向を把握するため、地元住民及び地元高校生（大分県立大分鶴崎高等学校、大分県立鶴崎工業高等学校）を対象にワークショップを開催しました。

また、1歳6か月、3歳児童健康診査受診者および鶴崎こどもルーム来訪者を対象として、子育て世代アンケートを実施しました。これらの結果を踏まえ、市民意向を整理します。

### (1) 地元住民ワークショップ

地元住民 ワークショップ	開催日時：令和3年7月22日 開催場所：鶴崎公民館 集会所 参加人数：37名
-----------------	--

ワークショップでは、「できたらいいなと思う活動」、「活動を行うための課題」、「活動を行うために必要な空間・施設や機能」をテーマとしました。

以下に意見のまとめを示します。



会場の様子



ワークショップの様子





### 鶴崎駅周辺

**【できたらいいなと思う活動】**

- ・車を使わずに歩いて、買い物をしたい
- ・ゆっくりとくつろぎたい
- ・イベント等をしてみたい（鶴崎三大祭、朝市等）
- ・駅から他の公共交通等を利用して移動しやすいようにしたい
- ・鉄道の北側と南側を駅を活用して、簡単に移動したい
- ・高齢者が集まれるようにしたい。

**【活動を行うための課題】**

- ・駅前に買い物できる場所が少なく、誘致する場所の確保が難しい
- ・駅のロータリーが小さいのでバスが入れず、鉄道から他の公共交通への乗換がしづらい
- ・送迎スペースや駐車場が少なく、自動車への乗り換えがしづらい
- ・人が集まれる空間が少ない
- ・高齢者が集まれる施設が少ない

**【活動を行うために必要な空間・施設や機能】**

- ・商業施設の整備
- ・多様な機能の集約（観光、飲食・ミーティング・勉強等）
- ・公共空間の整備及びバリアフリー化など（駅前周辺、広場等）
- ・明るくバリアフリーな歩行者空間と休憩できるベンチ等の設置
- ・南北通路（自由通路）の整備や駅北側での開発
- ・趣味や健康等の高齢者が集まれる施設の整備
- ・多目的スペースの整備（R197～駅間）

### 鶴崎支所周辺

**【できたらいいなと思う活動】**

- ・多世代で交流したい
- ・駅前から支所までを安全安心に歩きたい
- ・音楽等のイベントをしたい

**【活動を行うための課題】**

- ・子育てや福祉等で活用できる施設が少ない。
- ・高齢者等にとって、駅から支所までの距離が長く、移動しづらい
- ・駅前から支所までの道が暗く危険である

**【活動を行うために必要な空間・施設や機能】**

- ・駅からの公共交通網の充実
- ・レンタサイクル等の移動手段の導入
- ・安全に歩くことのできる歩行空間

### 自然・公園

**【できたらいいなと思う活動】**

- ・地区内の歴史や自然をまわりたい、観光と連携させたい
- ・河川周辺でウォーキングやトレーニングをしたい
- ・河川敷を地域の活動やイベントで活用したい

**【活動を行うための課題】**

- ・健康遊具等がない
- ・土手の清掃が行き届いておらず、利用しづらい
- ・季節の移ろいを感じられるものが少ない

**【活動を行うために必要な空間・施設や機能】**

- ・支所や公民館等と連携した河川空間の整備
- ・ウォーキング・サイクリングコースや休憩場所、健康遊具等の整備
- ・レンタサイクルの導入
- ・河川における花植え活動と地域での管理等による人が利用したくなる工夫
- ・街区公園の駐車場整備や総合運動公園のような大きなグラウンドの整備

### 商店街

**【できたらいいなと思う活動】**

- ・商店街でいろんな買い物ができるようにしたい
- ・商店街に立ち入りやすくしたい。

**【活動を行うための課題】**

- ・駐車場が少なく、アクセスがしにくい
- ・国道 197 号の拡幅による店舗が少なくなりそう
- ・若者が地域外で買い物している

**【活動を行うために必要な空間・施設や機能】**

- ・買い物以外の施設の整備（イベントやカフェ、フィットネス等）

### 防災

**【できたらいいなと思う活動】**

- ・安全安心に生活したい

**【活動を行うための課題】**

- ・災害発生時の避難場所の確保や情報周知ができていない
- ・鶴崎公民館、集会室のかさ上げが必要

**【活動を行うために必要な空間・施設や機能】**

- ・高床式の施設整備等の誘導（ソフト）
- ・避難場所や避難タワー等の整備

### 道路

**【できたらいいなと思う活動】**

- ・地区内の移動を円滑にしたい  
（国道 197 号、市道鶴崎・三佐線、別保橋）

**【活動を行うための課題】**

- ・市道鶴崎三佐線の寺司踏切や国道 197 号の交差点での渋滞がひどい

**【活動を行うために必要な空間・施設や機能】**

- ・国道 197 号の拡幅と連携した信号等の交差点改良、寺司踏切の改良（アンダーパス化）、別保橋の拡幅

### 歴史・観光

**【できたらいいなと思う活動】**

- ・地域の歴史資源の魅力を発信したい
- ・古くから伝わる行事やイベントを継承していきたい

**【活動を行うための課題】**

- ・歴史等の拠点となる施設がない
- ・来訪者のため駐車場が少ない
- ・サイクリング関連の施設が少ない

**【活動を行うために必要な空間・施設や機能】**

- ・歴史資料館等の地区内の歴史をまとめてみることができ施設の整備
- ・インターネットを活用した情報発信の実施
- ・観光マップの配布
- ・各資源を結ぶ散策ルートの整備や紹介看板の設置
- ・観光で利用しやすい公共交通
- ・観光ボランティアや学校との連携による歴史を伝える体制づくり
- ・バス駐車場等の観光対応スペースの確保（国宗グラウンド）





## (2) 地元高校生ワークショップ

大分鶴崎高等学校、鶴崎工業高等学校の生徒と一緒にワークショップを行う予定としていましたが、新型コロナウイルス感染の再拡大を踏まえ、感染リスクを考慮し、高校ごとに開催しました。

ワークショップでは、地元住民ワークショップと同様に、「できたらいいと思う活動」、「活動を行うための課題」、「活動を行うために必要な空間・施設や機能」をテーマとしました。

### ① 大分鶴崎高等学校

大分鶴崎高等学校 ワークショップ	開催日時：令和4年7月6日 開催場所：鶴崎公民館 集会所 参加人数：27名
---------------------	---



会場の様子



ワークショップの様子







## ② 鶴崎工業高等学校

鶴崎工業高等学校  
ワークショップ

開催日時：令和4年7月20日  
開催場所：鶴崎工業高等学校 教室  
参加人数：23名



ワークショップの様子



会場の様子





### 鶴崎駅・商店街周辺

**【できたらいいなと思う活動】**

- ・勉強がしたい
- ・友達と食事
- ・カフェ
- ・買い物、ショッピング
- ・本屋や服屋で買い物
- ・遊べる場所の確保
- ・友達と遊びたい
- ・映画、ゲームセンター、カラオケ、ボウリング
- ・運動
- ・サッカー
- ・飲み物が買える場所や自販機
- ・自転車をスムーズに停めたい（駅前駐輪場）

**【活動を行うための課題】**

- ・集まれる場所が狭く、施設が少ない
  - ※カフェが狭い
- ・若い人が集まれる場所がない
  - ※居酒屋が多い
- ・人が集まらない
- ・広い駐車場
- ・場所や広い土地
- ・住宅が多く、建てる場所がない
- ・使われていない敷地がある

**【活動を行うために必要な空間・施設や機能】**

- ・駅南北を結ぶ通路
- ・ショッピングモールや商業施設
- ・服屋
  - ※ファストファッション、古着屋
- ・映画館
- ・飲食店
  - ※焼肉、ラーメン、ピザ屋、ケンタッキー、カフェ
- ・勉強する場所
- ・本屋

### 治安

**【活動を行うための課題】**

- ・治安が悪い
- ・暗い
- ・街灯

**【活動を行うために必要な空間・施設や機能】**

- ・街灯を設置する
- ・広い芝の広場がある、整備された公園
  - 例）大分市公園通り3丁目のセントラルパーク

### 鶴崎支所周辺

**【できたらいいなと思う活動】**

- ・イベント
- ・観光
- ・勉強
- ・リフレッシュ

**【活動を行うための課題】**

- ・集まれる場所が狭く、施設が少ない
- ・若い人が集まれる場所がない
  - ※居酒屋が多い
- ・人が集まらない
- ・広い駐車場
- ・場所や広い土地
- ・住宅が多く、建てる場所がない
- ・使われていない敷地がある

**【活動を行うために必要な空間・施設や機能】**

- ・遊べる所
- ・流行のものが楽しめる所
- ・写真映える場所
- ・デートスポット
- ・室内で運動できる場所
- ・各高校ごとに出し物ができる場所
- ・勉強場所として図書館を設置する
- ・温泉、整体、エステ
- ・ジム、バッティングセンター
- ・カラオケ

### 道路

**【できたらいいなと思う活動】**

- ・自転車が余裕をもって通れるところ

**【活動を行うための課題】**

- ・鶴崎全体の道が狭い
- ・歩道が狭い
- ・曲がり角が多い

**【活動を行うために必要な空間・施設や機能】**

- ・道のカタカタを舗装する
- ・歩道、道路を広くする
- ・大通りを二車線化
- ・街灯を設置する
- ・きれいな道

### 歴史・観光

**【できたらいいなと思う活動】**

- ・清正公二十三夜祭の開催
- ・お祭りの開催

**【活動を行うための課題】**

- ・人手不足

**【活動を行うために必要な空間・施設や機能】**

- ・テーマパーク

### 自然・公園

**【できたらいいなと思う活動】**

- ・体を動かしたい、スポーツがしたい
- ・ランニング
- ・休みたい

**【活動を行うための課題】**

- ・交通量が多い

**【活動を行うために必要な空間・施設や機能】**

- ・広めの公園
- ・体育館、コート
- ・ランニングコース
- ・遊具がある、全年齢が遊べる場所
- ・広い公園
- ・室内で運動できる場所
- ・自然や景色
- ・休憩できる場所
- ・植樹をイベント化する





### (3) 子育て世代アンケート

子育て世代 アンケート	開催期間：令和3年12月下旬から令和4年3月下旬 対象：1歳6か月、3歳児健康診査受診者の保護者 および鶴崎こどもルーム来訪者 回収数：132名（健康診断：31名／こどもルーム：101名）
----------------	---

- ・回答者の多くは20～40代の子育て中の女性となっています。
- ・その約3割は鶴崎地区以外の方であり、鶴崎こどもルームを目的に来訪しています。

※アンケート調査の詳細は付属資料「子育て世代アンケート調査による意向把握のまとめ」  
を参照ください

#### 子育て世代アンケートのまとめ

- ・住みやすい、子育て環境に満足という回答がともに7割を超えています。
- ・鶴崎駅周辺で子どもとしたいこととして公園で遊ぶが7割を超えています。また、自由記述においても子どもが遊べる場所や公園遊具の充実、再整備などが挙げられています。
- ・鶴崎駅周辺でよく利用する施設のうち、こどもルームと鶴崎支所を除いた回答が2割以下となっており、利用者の多くが支所内のみの利用にとどまっています。
- ・鶴崎駅周辺の課題として、約6割の方が渋滞を挙げています。
- ・鶴崎駅周辺の課題として、店舗の少なさなど商業的な活気がないことが挙げられています。
- ・子育て世代のほとんどが自家用車を利用しているため、駐車場の整備を望む声が多くあります。
- ・地区内を回遊するための安心して歩ける歩道の整備を求める声があります。

#### (4) 市民意向のまとめ

地元住民及び地元高校生を対象としたワークショップ、子育て世代アンケートを踏まえ、市民意向を整理すると、以下が挙げられます。

全体的な傾向としては、人が集まれる魅力的な場の確保を求める多くの意見がありました。

- JR 鶴崎駅周辺や商店街には、商業的な賑わいを呼び込むような整備が求められています。また、自転車、バス、タクシー、自家用車との接続が行いやすい交通結節機能が求められています。
- 憩いの場、スポーツの場、遊び場として利用しやすい公園や広場などの施設整備等が求められています。
- 交通渋滞の解消が求められています。また、自動車を利用して訪れる地元住民や来訪者が多いこともあり、駐車場の確保に対する関心が高い傾向です。
- 安心・安全に移動できる歩道や自転車道などの整備が求められています。
- 川沿いの自然環境を活かした整備に関心が高く、公園には、高齢者、高校生、子育て世代それぞれのニーズに合った整備が求められています。
- 地元住民だけでなく、高校生からも歴史資源を活用した都市づくりやイベントの提案がありました。
- 防災面では、津波等に対する関心が高く、女子高校生からは、治安の維持向上を求める意見もありました。